

昨年の11月に始まり 2 カ月に一度紙面でお会いしてきました「薬局実務実習のポイント・着目点」ですが、今回の第 5 回が最終回です。

第 1 回は「調剤室で学ぶ」、第 2 回は「調剤室を離れて患者さんのお宅へ」を主題とした在宅訪問服薬指導、第 3 回は「処方せんから学ぶ」、第 4 回は「薬剤師以外の人と話してみよう」という視点で薬局実務実習を見てきました。今回は「カウンターで学ぼう」です。

『第 2 回の在宅の話のときに、《服薬指導などの“言葉という水”》はこぼしたら(覆水)(盆に)戻すことが難しいって言っていたのと矛盾する』と叱られてしまうのでしょうか？

確かに、薬剤師免許を有していない保険薬剤師登録もしていない薬学生の皆さんが、保険処方せんの患者さんへ直接服薬指導をする

ことは不可能かもしれません。でも、自分で経験しなければ実習にならないということでもありません。

「カウンターで学ぼう」とは場所としてだけでなく、『対面してコミュニケーションをとる』ことに触れることを意図しています。

第 2 回の“在宅”のところでも書きましたが、「家に帰ってくつろぎたい」のが「いつもの落ち着いた雰囲気に戻りたい」という感情からくる場合もあります。ソファで横に腰掛けたら、いつもよりも多くのことを話していただけることもあります。『1 人じゃ寂しいから話し相手を欲しかっただけじゃないの』という意見もあるかもしれませんが、何も話していただかなければ、薬に関するサポートはできません。紙に書かれていることをテープのように、押し付けがましく話すのが目的ではないのですから。

実践!!

薬局実務実習

そのポイントと着目点

オオノ 人材開発部

小林 満

○ 5 ○

講義と一致していることを彼女から学びました。そして、『分かっているけどつらいのよ』という言葉聴いて、「自分に何かできないか」と『患者さんが抱える疾患を学ぶ』『担当した患者さんから学ぶ』のです。くどいようですが、薬学生が上のことを直に体験するのではなく、指導薬剤師と患者さんの関係の中から、大学での講義を応用するという薬剤師の業務に触れて学ぶのです。

テレビドラマの中では、医師や看護師(あるいは研修医や看護学生)が、患者さんの死に遭遇して自分に何ができるのかと思悩、患者さんが笑顔で退院していく姿に喜び、さらに自分に磨きをかけていくという姿が描かれます。

「カウンター」で学ぼう!!

「カウンターで学ぶ」ことは、『担当した患者さんから学ぶ』のと、『患者さんが抱える疾患を学ぶ』ことにつながっていきます。

以前、肝臓の調子が悪く利尿薬を処方されている高齢女性の患者さんで、薬局に来るとすぐにイオン飲料に手を伸ばす方がいました。ソファの隣でイオン飲料を口にしたその方に、『利尿薬を服用しているからあまり飲みすぎるのは良くない』と話しかけようとしたところ、『あまり飲んじゃいけないんだけどね。足もゾウさんのようにむくんでいるし。でもね、口が渴いて仕方がないのよ。口が渴くと中がネバネバして嫌だし、入れ歯も唇についてしまうし』。教科書に書いていることだけを彼女に話しても、薬剤師の自己満足にはなっても、患者さんの問題は解決できません。薬剤師の自己満足よりも、患者さんの問題を解決する方法を探すことが必要だということをそのとき感じました。

浮腫のためか、むくみがちのスネには青あざがあり、持っていた病院の検査結果には、アルブミンが低値であることが記載されていました。

大学の講義では肝臓機能低下による腹水貯留や、浸透圧を調整するアルブミン、血液凝固に関係する因子も肝臓で産生され、さらには肝臓機能低下による門脈圧亢進で脾腫が起こることを習いました。目の前の患者さんの検査結果をはじめ、むくみや青あざが、大学の

患者さんとの豊かな交流を

保険薬局の薬剤師にそんなドラマのような世界を期待することはできないし、端から見たらただの雑談をしているぐらいにしか見えないでしょう。

しかし、入院期間が短縮されて外来や在宅での治療に移る方が減ることはないと考えられるこれからは、病院での薬剤師の活動と同時に、保険薬局薬剤師のサポートの必要性も増えてくると思います。和やかなコミュニケーションから保険薬局薬剤師の服薬サポートへとつながっていくと思います。

処方日数の長期化によって、同じ患者さんに何度も逢えるということは少なくなってし

まいましたが、薬に関係した仕事に就こうと考えている薬学生さんは、保険薬局実習を貴重な経験にして下さい。そして、その実習から『現場で働こう!』と考えた方の思いを喜んでくれるのは、実習指導してくれた薬剤師以上に、実習で出会った患者さん、これからあなたに出会う多くの患者さんだと思います。知らない世界は怖いけど、この記事を読んで少しでも実習の不安を減らすことができたのなら最高です。紙面ではこれくらいにして、薬局実習での素敵な出会いをお祈りしています。

それではまた、実習でお会いしましょう。

薬剤師

というお仕事。

薬学生のみなさま

クラシス

ベストな就職が実現!!

就職の成功を支援いたします。

豊富な求人情報
個人の就職活動では入手困難な求人情報も全国から多数よせられています。

登録から紹介まで一切無料です
キャリアアップが実現するまで、何度でもご相談ください。当然、プライバシーの保全には万全を期しております。

万全な体制でバックアップ
ご経験や能力をフルに発揮できる最適なお仕事を責任を持ってご紹介いたします。

薬剤師派遣スタッフ 同時募集

「好きな時間に働きたい」「いろいろな職場で経験を積みたい」など
ご自身のスタイルでお仕事を選べます。スキルが活かせる分野で思いっきり活躍してください。

お問い合わせ・受付
求人情報掲載中

0120-013-969
http://www.krasys.co.jp

クラシス 株式会社
厚生労働大臣許可(般13-010613)(13-ユ-010302)

東京本社：〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル1F
大阪支社：〒530-0026
大阪府大阪市北区神山町14-22 シティビル梅田6F

